

馬場 悠男 先輩 (15 回生)

国立科学博物館名誉研究員、座間市教育委員

『演題』 博物館の人類学研究者という生き方

【講演概要】

新宿高校在学中は、目立たないオタクだった。建築家、パイロットなどいろいろな夢を見た。結局、子供の頃からアフリカやアジアの自然、古代の文明、海外での調査旅行に憧れていたもので、自然人類学を専攻した。

博物館には、調査研究・資料収集保管・教育普及・展示など様々な仕事がある。研究者としては、それらの全てに携わるので、大変だが、やりがいもあって楽しい。具体的には、国内外での発掘調査（かなり3Kだ！）に基づいて200万年前から最近までの人骨（化石）を研究している。人類の進化や日本人の起源を解明するのが目的だ。マニュアルのない調査研究では、迷いや浮き沈みもあったが、人間関係を大事にしてなんとかこなってきた。

大学の教員歴も長く、地元座間市の教育委員も15年ほど続け、小中学校から大学まで連続する教育課題を考えている。そして、教師が生徒の身に付けさせられる最強の武器は、「読解力と文章力」であると確信した。

研究者は、給料は少ないが、退職後も、調査研究、講義、執筆などをそれなりに続けられる。たとえば、75歳でも、老骨に鞭打ち、エジプトで調査をしている・・・と粋がったら、老骨が傷んで腰椎椎間板ヘルニアになった。今は回復している。

小林 光 先輩（20 回生）

元環境事務次官

東京大学先端科学技術研究センター研究顧問・客員教授

『演題』 行政官として環境の仕事を担当。

【お話の項目】

環境とは何か 聞きなれた言葉ですが、その特徴を考えてみましょう。

環境省（庁）では、どんな仕事をしてきたか

小林が担当してきた仕事をざっくり振り返ります。いわば環境政策史です。

今、世界が直面する大きな課題、地球温暖化とは

中国が 2060 年脱炭素を、日本も 2050 年脱炭素を宣言し、米国も、パリ協定に

復帰する。ポストコロナの世界的課題を説明します。

環境に取り組む場合の様々な立場

環境保全は、今や、誰もが係わりを持つ仕事。企業や自治体、NGO、学者など

が今、どのように環境保全に力を出しているかを説明します。

中央官庁の行政官の役割とは

そうした中で、中央官庁の行政官の役割、醍醐味、そして求められる資質は何

かを説明します。

津川 清一（21 回生） 国際機関勤務 40 年

演題『国際会議でのお作法』

【講演概要】

1. 私と国際会議

会社に入ってから 40 年以上、ジュネーブに本部がある ITU の会議と付き合い
てきました。ITU は国際連合(UN)の専門機関の 1 つで、1865 年に設立され
たとても古い国際機関です。（明治維新より前ですよ！）7 年くらい前からは、
そこの 1 つの部会の議長をやっています。

2. 国際会議でのお作法

国際会議には、UN に代表される国際機関が主催する会議や国際学会など様々
な種類があります。国際会議というと、皆さん方はどのようなイメージを持って
いるでしょうか？

国際会議には、国際会議に特有な議論の進め方や英語の使い方があります。そ
れらを事前に知って慣れておくことは、会議へ参加するのにとても役に立ちま
す。

今回のキャリアガイダンスでは、長年 ITU の会議に参加してきた私が、国際
会議で求められるルール、国際会議特有の英語の使い方や発言の仕方を具体的
にお話しします。将来、国際会議や国際学会へ参加して活躍したい、と考えて
いる方はふるってご参加ください。

小池洋次 先輩 (21 回生)

国際ジャーナリスト・関西学院大学フェロー

『演題』 記者ほど面白い商売はない

【講演概要】

1. 私の経験

・日本経済新聞記者として 35 年。その後 10 年間は関西学院大学教授。ケンブリッジの大学院大学「クレアホール」の終身会員。

・シンクタンクの総合研究開発機構 (NIRA) 理事や世界経済フォーラム (ダボス会議)・メディアリーダーも務めた。

2. 記者の仕事

・名刺一枚で誰にでも会える。アメリカ大統領にも。

・好奇心が旺盛で、人に会ったり表現したりするのが好きな人には最高の仕事。もちろん、体力が必要。「権力の監視役」の意識を。

・記者がかかわるのは新聞、TV、ネットなど、いろいろ。

・お金を稼げる職業ではないが、人のネットワークという財産を得ることができる。

3. 記者になる方法

・何でもよいので、見て聞いて読んで、それを書いたり話したりしてみよう。毎日、日記を書くのはお勧め。継続することが大事。

・言葉を大事にしよう。手元に辞書 (国語、漢字、英和) を置き、気になった言葉をすぐ調べる。辞書を読むのもいい。

・記者になった経験を持つ人から直接、話を聞くのもよい。
(私への連絡は大歓迎 hrkoike1022@yahoo.co.jp)

太田 正行 先輩 (23 回生)

元新宿高校教員 (社会科)

『演題』 教師に求められるもの

- 1 自己紹介：大学・大学院で法律学を専攻。国立・公立・私立の中学校・高等学校・大学で 40 年以上「教師」をしてきました。
- 2 教師を目指した理由：新宿高校 3 年間の様々な体験が大きな理由だと思います。
- 3 教師という仕事：教科の授業が中心ですが、それだけではありません。
- 4 教師を目指すには：大学への進学。学部は教育学部（教員養成学部）か一般学部か
- 5 教師に求められるもの：教科や教職の知識と技能、熱意と使命感、子どもの良さや可能性を引き出しのばす力、責任感や協調性など
- 6 高校時代にやっておくこと

酒井 邦彦 先輩（24 回生）

弁護士・前広島高等検察庁検事長

演題『法律家になって社会を良くしませんか！』

【講演概要】

- 1 なぜ法律家になってしまったのか。そしてなぜ検察官に？
- 2 法律って世の中にとってそんなに必要なの？
 - ・コロナで起きていること
- 3 捜査のプロとして超難事件の捜査に挑む
- 4 検事の仕事の多様性
 - ・外交官になる
 - ・国連で働く
 - ・ODA でアジア各国の法律を整備する
- 5 良き地球・社会を創る（SDG s）
 - ・地球環境を守る
 - ・人権を守る
 - ・人に優しい社会を創る
 - －子どもの虐待を防ぐ
 - －薬物依存者の回復を助ける
 - －再犯を防ぐために福祉と連携する
- 6 弁護士として企業の仕事をする
- 7 法律家になるには
 - ・どんな人が向いているの
 - ・試験はあるの？

篠原 厚子 先輩 (25 回生)

清泉女子大学人文科学研究所教授

演題 『薬剤師を目指した理由、研究職に進路変更したのは面白かったから』

【講演概要】

新宿高校在学中、放課後はバドミントン部でシャトルを追いかけていました。小学生のころから、将来は自分で食べていける職に就くと決めていました。薬剤師は女性が働くのに向いている職業であること、理科系の科目は基本的に好きであったことから大学は薬学に進みました。大学3年から研究室に出入りし、実験が面白くなり、もう少し続けたいと考えて大学院に進学しました。大学院の先輩から、博士課程までいくと就職は難しいと忠告されましたが、いざとなれば薬剤師として働こうと思いあまり不安はありませんでした。結局、大学院修了後4年間は無給助手として働き、その後、幸いなことに別大学の有給の助手のポストを得ることができ、さらに別の大学に異動して現在に至っています。この間、結婚し、周りの協力を得ながら子どもを育て、親を見送りました。大学の教員は多くの学生と接する仕事であり、特に現在は学生担当の役割についていることから、悩みや障がいを持つ学生のサポートに関わることも多く、考えさせられることが多い日々を過ごしています。

薬学は平成18年に、4年制から6年制に変わり、長期間にわたる実務実習も課され、臨床領域の授業や実習が増えました。薬剤師の国家資格が得られることは大きな利点である一方、実験や実習があるので、特に私立大学においては比較的授業料が高いこと、病院や薬局で働くための実務実習を行うことから、実験・研究の時間が減ることになり研究職を目指す人にとっては悩ましい部分もあるように思われます。

薬学に進んだ場合の将来の仕事の選択範囲や動向についての話に加えて、結婚、出産、子育てを含めた人生設計や、生涯にわたる健康保持・増進についても、女子だけでなく男子にもお話ししたいと思います。

植田 益朗 先輩 (26 回生) アニメプロデューサー

<講演概要>

アニメプロデューサー、一度やったらやめられない

COOLJAPAN の申し子は全世界の共通語、

どこの国でも話ができ、会話が続く

海外イベントで、当たり前サインや、握手を求められ、Star になった気持ち

いい年こいて、漫画やアニメ でも

人が喜怒哀楽を求める限り、エンタメコンテンツは不滅

そんなコンテンツが、人の人生を変える

ガンダムはそんなコンテンツ

全くアニメに興味がない男が、40 年付き合ってしまった

そんなことがある

それが人生、それも人生

出会いはどこにでもある、常に興味のアンテナを持っていれば

面白いことはたくさんある

人生 100 年時代と、粘る年寄りを早く追い出す、

スーパーマン&ウーマンを求む

石川 裕 先輩 (30 回生)

国立研究開発法人理化学研究所計算科学研究センター

演題 『博士号を取得する意味は？』

講演概要

高校時代にコンピュータの研究開発をしたいと夢見てから40数年たつ。新宿高校を卒業し慶應義塾大学に進学、学位取得後、国立研究所である電子技術総合研究所に入所、その後、東京大学で教鞭&学生と研究を行い、早期退職してスパコン開発プロジェクトリーダーとして今日に至る。時代毎に何を考え、どう行動してきたか話したい。

- 高校時代まで
 - 将来何になりたかったか
 - 若いときにしかできないことをやろう
- 大学時代の4+6年間
 - コンピュータ業界でアルバイト
 - 束縛されない研究を続けたくて大学院へ
- 国立研究所&国家プロジェクト時代の14年間
 - 公務員研究者とし何をしてきたか
 - 研究とはなんぞや
- 大学教員時代の12年間
 - 学生に講義、学生と一緒に研究していて考えたこと
 - 博士号とってどうするの
- スパコン開発プロジェクトリーダーとしての7年間
 - 自分が本当にやりたいことが出来たのか

キーワード：博士号、研究者、教員、スーパーコンピュータ「富岳」、ライフワーク、想像力、知的好奇心、基礎学力、心身健康、メリハリ、達成感、志、独立自尊

中越 一統 先輩 (31 回生)

公認会計士 リソース・グローバル・プロフェッショナル
・ジャパン(株)ディレクター

演題『公認会計士の業務について』

1. 略歴

学生時代～

- ・ バイオ系に関心があり一浪して東大理科二類に入学 高校時代はラグビー部
- ・ 農学部水産学科に進学して魚の病気の研究 大学時代もラグビー部

卒業後～

- ・ 明治製菓に技術職で入社。数字を読める技術者になれというアドバイスを受け簿記の勉強。
- ・ 簿記が面白くなり会計に興味を持ち本格的に勉強をはじめ会計士試験に合格。
- ・ 監査法人に転職。
- ・ オレゴン大経営大学院に留学(いわゆる有名校は全敗) 大学院でもラグビー部
- ・ 監査法人に戻った後、外資系メーカーに転職してその後コンサル系企業へ …

2. 公認会計士の業務について

2-1 公認会計士の試験制度

- ・ 短答式試験・論文式試験 (受験資格の制限なし。高校生も受験可)
- ・ 試験合格後に会計事務所等で実務、研修所での研修を経て公認会計士登録

2-2 公認会計士の主要な業務

- ・ 監査 — 大企業等の決算書をチェックして適正か否か意見を表明
- ・ 税務 — 個人から企業までを対象として税金に関するアドバイス、申告書の作成 (*税理士登録して行なう。会計士は税理士試験免除)
- ・ コンサルティング — 会計、税務等のプロとしてコンサルティングサービスの提供
- ・ 企業内会計士 — 企業の従業員として経営に関与する(CFO, コントローラー)

3. 公認会計士業界の魅力

- ・ 数字が読めると企業等の真の姿が見える (仕事として面白い!)
- ・ 個人から大企業まで対象業務の幅が広く需要が安定
- ・ 監査、会計のプロフェッショナルとしての社会からの高い信用

関井 隆 先輩 (32 回生)

国立天文台・准教授

演題『天文学者になるには』

<講演概要>

一説によると、日本には天文学者が 700 人位しかいないそうです。天文学者になりたいとして、どうやったら天文学者になれるのでしょうか。そのほんの一例の紹介をかねた自己紹介の後、天文学者とはどんな職業なのか、また、天文学者になるにはどんな道筋があるのか、お話しします。

- 1 自己紹介
- 2 天文学者とはどんな職業か
 - 2.1 天文学とはどんな学問か
 - 2.2 天文学者は毎日何をしているのか
 - 2.3 天文学者は何が楽しいのか
- 3 天文学者になるには
 - 3.1 どのような経路で天文学者になるのか
 - 3.2 どのような人が向いているか・向いていないか
 - 3.3 天文学者になるには何が必要か・何が不要か
 - 3.4 途中で挫折したら
- 4 最後に

潮 智史 先輩（34回生）

朝日新聞記者（スポーツ担当）

<演題> 「ひとにものを伝えるということ」

<講演概要>

やりたいことを追いかけて、関わる幸せと運

まさかの新聞記者？ 「ツールドフランス」と、サッカー選手との競争

自分次第で、なんでもやれる、どこでもいける

そして、生で見る、質問する、聞く醍醐味

喜怒哀楽、生き様、価値観、文化、社会との遭遇、歴史に立ち会うことも

試される感受性、問題意識、価値観、人間性

記事を書く、伝えることはエンターテインメント

ひととの出会い、それが仕事であり、人生の楽しみ

もちろん、しんどいこともある。内と外での競争、パワハラ問題

会社員、だけど個人事業主。ひととして……

ブラジルで見た光景、2001年と2019年

「ミッキーマウス」と The Open

尽きない欲求、なににも勝るものとは？ 筆力？

激動の30年と新聞社が生き残る道

西村 雄一 先輩（43 回生）

2010・2014 FIFA ワールドカップレフェリー

演題『夢と感動を支える者として』

【講演概要】

駒沢サッカークラブジュニアユースでサッカーを始め、高校 1 年生の時には、新宿高校サッカー部に在籍。高校 3 年生の在学時に、「審判とはどんな存在であるべきか」と考えたことが審判員を志すきっかけとなった。2010 年 FIFA ワールドカップ 南アフリカ大会、2012 年ロンドン・オリンピックなど、国際大会で実績を重ね、2014 年 6 月に行われた FIFA ワールドカップ ブラジル大会の開幕戦、ブラジル対クロアチアの主審を担当。2015 年に 11 年間務めた国際主審を退任し、国内でのプロフェッショナルレフェリーとして活動を継続し現在に至る。

サッカー審判員に限らず、様々な場面で誰にでも求められる「見極める」能力。その能力を極めるための審判員の取り組みから、「よい準備」、「ルールと向き合う」、「挑戦することの大切さ」、「スポーツから学ぶ人間力」などをお伝えいたします。

選手が夢をかなえられるように、そして、ファン・サポーターにサッカーを楽しんでもらえるように、毎試合全力で選手のために“誠心誠意”を尽くす「夢と感動を支える者」として、スポーツの素晴らしさや感動を皆様と共有しながらお話を進めてまいります。

原田 将史 先輩（48 回生）

建築家 一級建築士

ニジアーキテクツ一級建築士事務所 共同代表
日本工業大学 非常勤講師

演題『寝ても覚めても建築』

【講演概要】

“建築”といっても、関わる業種は多岐にわたります。
その中でも私は“建築家”という職業を選択しました。
建築の道を歩みだしてから今まで経験してきた、やりがいや苦労したこと、モノをつくる喜びなど下記の話を中心にお伝えいたします。

【建築とは】

建築とは何か。建築に関わる人たちとその役割とは。

【建築家とは】

私が職業としている“建築家”とは何か。そして建築家という人生の紹介。

【建築家への道】

私が建築家を志した時から新宿高校での日々、浪人時代から大学での勉学の日々、修行時代から独立して現在、そしてこれからの未来を紹介。

皆さんがこれから建築家を志す時、何をすべきか。

【作品紹介】

修業時代から独立し建築家としての現在まで手がけてきた建築作品の紹介。

須田 健太郎 先輩 (48 回生)

株式会社 電通クリエイティブ・ディレクター

演題『広告のひみつ』

テレビ、アプリ、SNS、ゲーム、通学路、電車、バス、新聞、雑誌……

人は 1 日 24 時間の生活で数千もの広告に接触すると言われています。そしてその数はさらにどんどん増えているとも。

「そんな実感ないよ」とみなさんは思うかもしれませんが。しかし、テレビ CM や看板などの分かりやすく認識できるものだけではなく、例えば、うなぎ屋さんが「どう？美味しそうですね？」とお客さんを誘う為にあえて表に漂わせる「いい匂い」だって、立派な広告とすることができるのです(専門用語では“アンビエント広告”と言います)。

みなさんのお父さんやお母さんにも聞いてみてください。お仕事する上で、ものを買ったり人を呼んだりする際になんらかの形で「広告」を利用していると思いますよ。

そんな、生活と切っても切り離すことのできない広告の世界に飛び込み、私は今、クリエイティブ・ディレクターとしてみなさんもよくご存知のたくさんの企業や商品の広告を作っています。

クリエイティブ・ディレクターとは、それら広告表現全般におけるリーダーです。簡単に言うと「どんな広告にするか」を考えて、決める役目です。

そんな立場から、この講座では私の作ってきた様々な広告を元に、その裏側にあるひみつをみなさんにこっそりお教えして、この仕事の面白さや意義というものを伝えられたらと思っています。

ぜひご参加下さい。